

## STAGE+を楽しむ(212)(HP 収載)

—モンテヴェルディの合唱曲—

### 1. 始めに

前報(211)に引き続き、STAGE+のモンテヴェルディの合唱曲の演奏の試聴を実施します。

### 2. 試聴音源

今回は、STAGE+のモンテヴェルディの合唱曲の演奏を選びました。

再配信 2024 年 11 月 24 日 10:00

再配信 2024 年 11 月 24 日 20:00

ガーディナー率いるモンテヴェルディ合唱団とイングリッシュ・バロック・ソロイストによる“モンテヴェルディが見たイタリア”を巡る旅もいよいよ大詰めを迎えます。最後に訪れた地は永遠の都ローマ。ルネサンス及びバロック美術を中心としたコレクションで知られるボルゲーゼ美術館で、カラヴァッジオ、ベルニーニ、ティツィアーノらの名画を前にモンテヴェルディの音楽に新たな命を吹き込みます。プログラムはマドリガーレ集を中心に歌劇《オルフェオ》の名場面までの選りすぐりで、ガーディナー自身がプレゼンターの役割を担います。この最高に贅沢な饗宴を心ゆくまでお楽しみください。

演奏:

イングリッシュ・バロック・ソロイスト、モンテヴェルディ合唱団

指揮:

ジョン・エリオット・ガーディナー

曲目:

クラウディオ・モンテヴェルディ

《波はささやき》SV 51 (マドリガーレ第 2 巻より)

クラウディオ・モンテヴェルディ

《そうなのだ、死にたいのだ》SV 89 (マドリガーレ第 4 巻より)

クラウディオ・モンテヴェルディ

《たとえ夜、太陽が》SV 111:3 (マドリガーレ第 6 巻より)

クラウディオ・モンテヴェルディ 《聖母マリアの嘆き》SV 288

クラウディオ・モンテヴェルディ

《ウリッセの帰還》SV 325 より第 1 幕: "Dormo ancora, o son desto?"

クラウディオ・モンテヴェルディ 《オルフェオ》第 3 幕より 〈不運な恋人よ〉

クラウディオ・モンテヴェルディ 《オルフェオ》 第2幕より

〈ああ痛々しい出来事〉

クラウディオ・モンテヴェルディ

《ニンファの嘆き》SV 163 (マドリガーレ第8巻より)

クラウディオ・モンテヴェルディ

《聖母マリアの夕べの祈り》SV 206 より第5曲:すべてが美しい方

クラウディオ・モンテヴェルディ

《ティルシとクローリ》SV 145 (マドリガーレ第7巻“コンチェルト”より)

第4曲: 踊ろう、波に乗り

クラウディオ・モンテヴェルディ

《星に向かって》SV 78 (マドリガーレ集第4巻より)



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、仮想アース Crystal Ep-G の導入(3)で報告した、Sonica DAC への Crystal EpY-G の接続を継続しています。

名画の展示されたボルゲーゼ美術館で、ガーディナー自らの解説を挟んで演奏が進行します。美術館ですが、教会のように残響が豊かです。

写真にあるように、合唱、ソロ、デュオなどの歌唱が、名画の前で、あるいはバックにして、アカペラやリュートやヴィオラダガンバなどの古楽器とともに演奏が続きます。歌手達はあるときはしみじみと情感を込めて、あるときはダイナミックに感情をぶっつけます。





#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G も使用した結果、モンテヴェルディの合唱曲やマドリガルがリアルに再現されていました。

以上